



むくのきだより

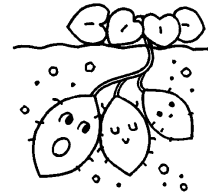
11月号 平成27年11月4日 港区立赤羽幼稚園長 小鹿原 賢

秋たくさんさんの幼稚園

園長 小鹿原 賢

10月は、実りの秋と食欲の秋の体験がありました。

晴天に恵まれた「いもほり遠足」は、埼玉県新座市にある「尾崎ファーム」で行われました。今年は、お芋の成長に好都合の天候だったようで、大きなお芋がたくさん採れました。



芋ほりは、幼児期の子どもにとって収穫の体験、裸足や素手で土に触れる体験、土の中の昆虫の発見など、喜びと驚きの感性を養うには絶好の園教育ととらえています。収穫の喜びを家族に伝え、料理して一緒に食事をするなど、家族団欒にもつながります。

焼きいも会は、幼稚園のプールを置いた場所に、ブロックを敷いて行いました。私が子どもの昭和30年代頃には、お芋は直に焚火の中に入れてましたが、今は濡れた紙の中にくるみ、外側はアルミホイルで包むというやり方で焼きます。この方法だと蒸らしがよくできるようです。焼きいも会では、できるだけ子どもの手で行う体験を大切にしました。芋を包むのは子どもの手で、火がついたところに小枝の薪をくべたり、焚火を見たりと、できるところは子どもにさせてみました。煙いという体験もしました。火の番をした私は、焼き具合が気になっていました。焼き具合によって甘味が違うからです。子どもに聞いたら「おいしかったです。」と言い、嬉しく思いましたが、実は私のお芋は、少し甘味に欠けていました。また、来年が楽しみです。

11月に入り、晩秋を迎えます。紅葉のたよりがもうじき東京にも来ることでしょう。ぐっと寒くなることも予想されます。健康管理にご注意ください。

